

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-014226
(43)Date of publication of application : 16.01.1996

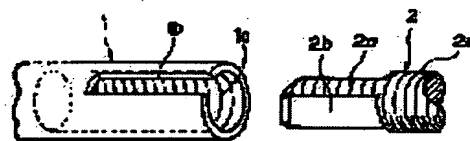
(51)Int.Cl. F16B 7/18

(21)Application number : 06-168727 (71)Applicant : FUJII HARUMI
(22)Date of filing : 27.06.1994 (72)Inventor : FUJII HARUMI

(54) CONNECTING BODY**(57)Abstract:**

PURPOSE: To integrate a member with an internal thread formed and a member with an external thread formed in a short time.

CONSTITUTION: This connecting body comprises a connected member having a space in which an internal thread 1a is formed and a slit 1b or a groove which is shorter than the length of the space is provided and also a connecting member in which an external thread 2a screwed into the internal thread 1a is formed and which has a tip end part 2b, both sides of which are cut to have smaller width than that of the slit 1b or the groove and the tip end part is shorter than the length of the space.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]



Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-14226

(43) 公開日 平成8年(1996)1月16日

(51) Int.Cl.⁶

F 1 6 B 7/18

識別記号

A

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-168727

(22) 出願日 平成6年(1994)6月27日

(71) 出願人 592031215

藤井 晴美

東京都新宿区西早稲田3丁目16番28号

(72) 発明者 藤井 晴美

東京都新宿区西早稲田3-16-28

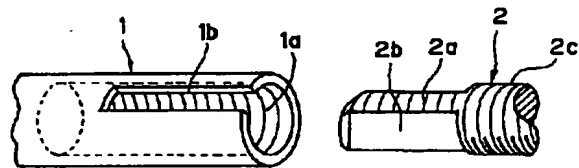
(74) 代理人 弁理士 藤井 元泰

(54) 【発明の名称】 連結体

(57) 【要約】

【目的】 雌ネジの形成された部材と雄ネジの形成された部材とを短時間に一体化し得るようにする。

【構成】 雌ネジ1aの形成された空間を有し、その空間の奥行きより短いスリット1b又は溝が空間に連設された被連結部材1と、前記雌ネジ1aに螺合する雄ネジ2aが形成され、両側が切除されて前記スリット1b又は溝より小幅で前記空間の奥行きより短い先端部2bを有する連結部材2とよりなっている。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 雌ネジの形成された空間を有し、その空間の奥行きより短いスリット又は溝が空間に連設された被連結部材と、前記雌ネジに螺合する雄ネジが形成され、両側が切除されて前記スリット又は溝より小幅で前記空間の奥行きより短い先端部を有する連結部材とよりなる連結体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、雌ネジの形成された部材と雄ネジの形成された部材とが一組となって一体化される連結体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 雌ネジの形成された部材と雄ネジの形成された部材とを一体化するには、一般に、雄ネジの形成された部材を雌ネジの形成された部材に接近、接触させた後に回転して螺合させている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、一体化される各部材のネジ形成部分が長かったり、螺合一体化作業が多数ある場合には、その作業に要する時間はかなり長くなる。

【0004】 この発明は、雌ネジの形成された部材と雄ネジの形成された部材とを短時間に一体化し得るようにすることを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、この発明の連結体は、雌ネジの形成された空間を有し、その空間の奥行きより短いスリット又は溝が空間に連設された被連結部材と、前記雌ネジに螺合する雄ネジが形成され、両側が切除されて前記スリット又は溝より小幅で前記空間の奥行きより短い先端部を有する連結部材とよりなるものである。

【0006】

【作用】 上記のように構成された連結体においては、連結部材の先端部を被連結部材のスリット又は溝から空間内に挿入し、その状態で連結部材を数回回転させると、両部材は螺合し、一体化する。

【0007】

【実施例】 図1及び図2を参照し、この発明の連結体の第1実施例について説明する。

【0008】 この連結体は、内壁に雌ネジ1aの形成された空間及びスリット1bを有する被連結部材1と、その雌ネジ1aに螺合する雄ネジ2aが外周に形成され、且つ、薄幅の先端部2bを有する連結部材2とより構成されている。

【0009】 被連結部材1のスリット1bは、被連結部材1の空間に連設され、その長さは空間の奥行きより短く設定されている。なお、被連結部材1の外形は図示のような円形以外のものでもよい。

2

【0010】 連結部材2の先端部2bは、断面円形の連結部材2の両側を切除することによって形成され、その幅は、被連結部材1のスリット1bの幅より小さく、長さは、被連結部材1の空間の奥行きより短く設定されている。

【0011】 このように構成された被連結部材1と連結部材2とを一体化するには、まず、連結部材2の先端部2bを被連結部材1のスリット1bに合致させて被連結部材1の空間内に挿入する。次いで、その状態で連結部材2を数回回転させて螺合することによって一体化する。

【0012】 この状態では、連結部材2は少なくとも先端部2bの先端付近及び全周ネジ部2cにおいて被連結部材1の雌ネジ1aと螺合している。そして、先端部2bの雄ネジ2aがスリット1bから見えなくなる角度で連結部材2の回転を止めることにより、連結強度をより大きなものとすることができる。

【0013】 次に、図3を参照し、この発明の連結体の第2実施例について説明する。

【0014】 この連結体の被連結部材11は、空間を形成する部分の厚さが、第1実施例の被連結部材のように薄くなく、かなり厚いものである。そして、内壁に雌ネジ11aの形成された空間を有する点は、第1実施例と変わらず、スリットが溝11bに変わる点で異なっている。なお、被連結部材については、第1実施例の連結体と全く同じである。

【0015】 溝11bは、被連結部材11の空間に連設され、その幅は、連結部材2の先端部2bの幅より大きく、長さは、空間の奥行きより短く設定されている。被連結部材11の外形が円形以外のものでもよい点も、第1実施例と同様である。

【0016】 このように構成された被連結部材11と連結部材2とを一体化するには、まず、連結部材2の先端部2bを被連結部材11の溝11bへいっばいに挿入してから空間内に移動させる。次いで、その状態で連結部材2を数回回転させて螺合することによって一体化する。連結強度等については、第1実施例と同様である。

【0017】

【発明の効果】 この発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載するような効果を奏する。

【0018】 即ち、被連結部材のスリット又は溝より連結部材の先端部を挿入することができるので、両部材を短時間に一体化することができ、結合強度もかなり大きなものとすることができる。しかも、両部材の構造が極めて簡単であるので、製造経費を低く押さえることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の連結体の第1実施例の斜視図である。

【図2】 この発明の連結体の第1実施例の平面図であ

3

4

る。

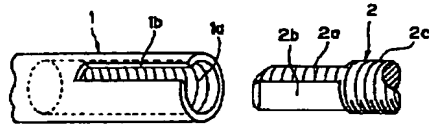
【図 3】 この発明の連結体の第 2 実施例における被連結部材の斜視図である。

【符号の説明】

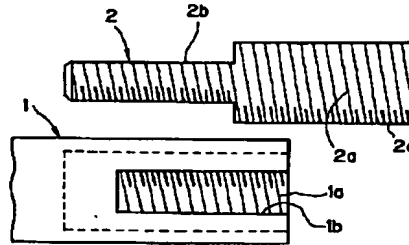
1 被連結部材
1 a 雌ネジ
1 b スリット

2 連結部材
2 a 雄ネジ
2 b 先端部
11 被連結部材
11 a 雌ネジ
11 b 溝

【図 1】



【図 2】



【図 3】

